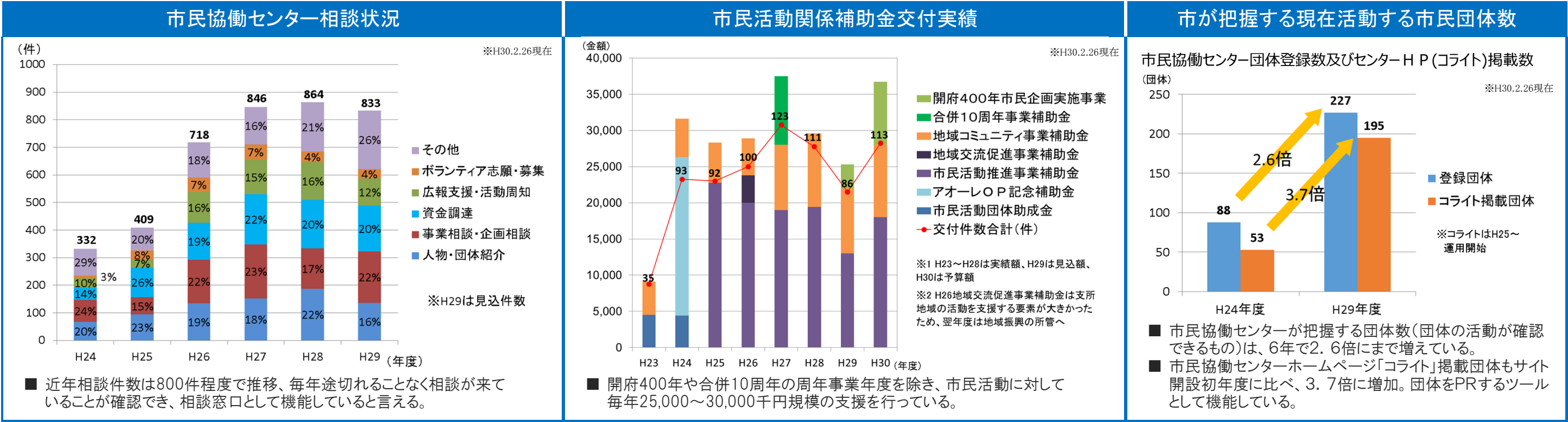


市民活動に関するこれまでの実績

◆市民活動に関する各種参考データ



◆市民協働センターがつなぐ、ひとや情報(特定非営利活動法人市民協働ネットワーク長岡による具体的な対応事例)

①子どもたちの郷土愛醸成に貢献

事例1:「長岡を知る」ひとや団体を講師としてマッチング

市内小中学校が総合学習等のプログラムをコーディネートしてほしいと相談(H24～)。
テーマに応じて、長岡で活躍する人・団体・行政などをマッチングし、センター職員も講師として登壇。小中学生が長岡の魅力をを知る・感じる貴重な機会を提供しました。



事例2:地域の宝のPRをトータルコーディネート

上通小学校(中之島)が特産である「はなはす」のPRについて相談。
アオーレでの「はなはす」の展示を提案したほか、「ポスターでPRしたい、れんこんをプレゼントしたい」など児童のアイデアを活かしたお披露目の場をコーディネート。H29には活動が評価され、時事通信社「教育奨励賞」優良賞を受賞。



②地縁／テーマ型活動の発展を支援

事例1:中山間地域の活性化を多方面からサポート

八王子グリーンツーリズム(小国)から交流人口増に向けた企画の相談。
八石ボタン群生地の魅力を活かすため、整備活動に補助金の活用をアドバイスし、地元大学生ボランティア等も紹介。活動に関わる人が徐々に増え、移住者の受入れや、たまり場八ちゃん※の整備・運営など、地域活動が発展していきました。



※市と集落が協働で整備した交流・移住促進施設

事例2:ニュースポーツ普及の企画提案をアドバイス

県内に競技者が1人しかいない「水中ホッケー」の普及とPRの相談。
競技のおもしろさを伝えるため、水中ホッケー体験会を提案したほか、プレスリリースの方法をアドバイス。体験会には15名程度が参加、メディアの取材もあり「やってみたい!」という人がつながり、クラブが発足。現在約30人が加入しています。



③企業と他の主体を効果的につなぐ

事例1:win-winの関係性をコーディネート

店内の有効活用を目指す企業が、手作り体験会を実施できる団体を紹介してほしいと相談。
活動場所を求めていたママさんの団体等を紹介し、アクセサリ等小物作りのワークショップ(WS)の開催につながりました。その後は、双方が自発的につながり、定期的にWSを行う関係性に発展しました。



事例2:企業内有志ボランティアの活動をサポート

職場の有志によるボランティア団体が、活動先を紹介してほしいと相談。
団体のニーズに合わせた活動の場をピックアップし、ボランティア先とのマッチングを行いました。協働センターによる継続的なサポートにより、サークル的な活動から、団体自らが活動を企画したり、仲間を募集したりと、活動が発展しています。

